

内金トシテ手交シ再會ヲ約シテ退散セリ  
二月十八日ニハ引續キ同署樓上ニ兩者、會見行ハレタカ會  
社ハ變遷全負解雇ヲ言渡スト共ニ近日中四百圓ノ融通ヲ受  
クルヲ以テ之レニヨリ一切ヲ解決サレタキ旨求ヘタルニ從  
業員側ハ他、出資社員ニモ支出方取斗ハレタキ旨主張シテ  
別レタリ

三月二十一日ニハ工場ニ於テ勞資會見會社ハ渡部米拂積振  
出拂ヲト同時ニ金一封支給スヘキヲ表示セタルニ從業員側  
ハ作業開始セハ金貳千圓也ヲ受ケ解決スヘシヲ主張シ始メ  
交渉ノ運ヒトナラス

四月二十六日ニハ代表社員野村方ニ於テ同人及會社債権者氏  
家三並ニ從業員ト折衝シ資本家側ハ氏家カ無条件ニテ該工  
場ヲ讓受ケ事業ヲ継続犧牲者ヲ出サバルコト及金八百円也  
ヲ支出スベキニ付解決サレタキ旨述ヘタルニ從業員側ハ之

レヲ一蹴シ不調ニ終レリ  
又兩者ノ動靜

一 會社側ハ出資社員六名ニシテ爭議團ト、會見交渉ノ前途野  
村代表社員三ニ衡リ一面全負全策ニ奔走シツ、アルカ意  
、如クナラサル模範ナリ特異ノ策動ナシ

二 從業員側  
紛議發生後間モヤク工場ニ接者セル工場留守番所ヲ爭議團  
本部トシテ總評本部負山花秀雄野村浩佐藤嗣等ハ出入  
シ指導統制ヲ圖リツ、アルカ持之義ヲ以テ對抗スヘク本月  
廿一月ヨリ一組ニ名、行動隊五組ヲ編成シ銘、行商ヲ開始  
スルニ至レリ

右及申(通)報限也